

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 令和4年度 活動報告書

当拠点は、ものづくり地域「はままつ」の高い技術力・開発力と、医療ニーズ・医学シーズとの異分野融合により、健康・医療産業の事業化を推進し、連鎖的・継続的な地域イノベーションの創出を目指して設立された。平成21年度（2009年）に科学技術振興機構（JST）「地域産学官共同研究拠点整備事業」の「構想支援地域」に採択され、先端医療開発特区課題の事業化及び関連技術のシーズ化などを、浜松地域の大学と企業が密接に連携して推進してきた。事業終了後も当事業への下記提案機関を中心に「ものづくり技術と医療・医学との融合による地域イノベーションの創出」を目指し、継続して活動を行っている。

【提案機関】

【産】 浜松商工会議所、（公財）浜松地域イノベーション推進機構

【学】 浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学

【官】 静岡県、浜松市

令和4年度も「事業計画」に基づいて以下の活動を行った。

1. 研究活動支援

1-1 大型機器他を活用した医工連携研究推進

「地域産学官共同研究拠点事業」終了後に JST から無償譲渡を受け、浜松医科大学に設置している装置・機器（サイクロトロン、GMP ホットセル等の装置・機器及び X 線 CT、MRI 等）および浜松工業技術支援センターに設置している各種加工用レーザー装置類を引き続き有効活用した。

（詳細は P9 記載）

2. 事業化・実用化ポテンシャルのあるシーズの医工連携での開発支援

2-1 実用化開発支援

○医工連携スタートアップ支援事業の対象課題の開発支援

令和3年度終了課題4件の採択企業（下記1件は委託先企業が解散）をフォローアップ訪問して面談し、状況を確認するとともにアドバイスをを行った。

各社ともに製品化に向け、また新たな公的資金の獲得に向けて開発を継続している。

- ・株式会社 Stella：スマートフォンを活用した認知判断測定装置のハードウェア開発
- ・株式会社美浜工業：形状記憶マスクの医療用モデル開発
- ・株式会社平垣製作所：光学系医療装置のアッセンブリまで対応可能な体制構築
- ・仲山貴金属鍍金株式会社：血栓回収ステントへの部分めっき技術の開発

○実用化支援

- ・T社（浜医大附属病院 聖隷浜松病院臨床工学室）
- ・Y社（浜医大附属病院 吉備高原リハビリテーションセンター）

2-2 シーズ創成開発支援

○エキスパートシステム（AI）活用による以下のシステム構築の支援

- ・事業化・コーディネータのデータベース構築の検討及び仮運用
今年度から関係者で仮運用を開始し、システムの改良を行った。
- ・臨床研究データベース構築の検討
- ・医療シーズ・ニーズデータベースの検討

○レーザー加工技術による医療用および医学研究用機材の製作

浜松工業技術支援センターと光産業創成大学院大学等との連携により、4つのテーマ設定（1. 金属・セラミックの3次元造形技術開発、2. 非熱的な生体の表面処理技術開発、3. 医療機器開発に向けた立体加熱手法・装置の開発、4. 微細加工による医用・医療材料開発）を行い、それぞれ以下の様に進めた。

まず、同拠点事業で整備したレーザー関連装置（レーザー加工装置、顕微鏡）も、医療・健康分野へ新たに進出を目指す地域の中小企業等に活用されている状況である。一層の活用を促進するため、装置を設置している浜松工業技術支援センターでは、企業からの技術相談に対応し、活用方法等の指導を行った。また、光産業創成大学院大学では、各種イベントや企業との連携の中において、医療・健康分野への応用提案や、各種案件に対して試験や事業化支援を行った。ここから進展のあった企業・大学に対して、今年度においては医療分野研究成果展開事業先端計測分析技術・機器開発プログラムへの実施（レーザー血管吻合技術・機構開発）（1件）につながっている。

研究開発においては、光産業創成大学院大学関連での金属・セラミックのレーザーによるAM（アディティブ・マニュファクチャリング～3次元造形）の関連技術開発（観測システムの構築、プロファイル評価機構の構築）、レーザー樹脂溶着・レーザー治療に向けたレーザー加熱端子開発を静岡県内企業2社の協力を得ながら継続して発展させている。現在、県内企業の協力を得ながらリンパ系の治療技術開発（レーザー溶着）により、戦略的基盤技術高度化支援事業の実施（2年目）に至っている。浜松工業技術支援センターでは、従来の侵染法では染色が難しかったプラスチック素材（視力矯正用眼鏡レンズ）をレーザーで染色する装置のさらなる技術開発を進め、科学技術振興機構の研究成果展開事業A-STEPトライアウトに令和2年に採択され、令和3年まで技術開発を行った。令和4年度は共同研究企業への支援を引き続き行うとともに技術移転を進めた。また、浜松工業技術支援センターと光産創大が地元企業に協力して製品化された「透明プラスチックのレーザーによるクリーンな溶着システム（ラバーテックス SV-120F）」を用いて医療器具製造のための応用開発の支援を行った。

3. コーディネート活動

3-1 医工連携のワンストップ窓口の機能

- ・「技術相談」をはじめ、地域企業・関連機関との窓口業務を行う。
- ・浜松市の浜松ウエルネス推進協議会への参画
- ・光産業創成大学院大学のバイオフィotonicsデザイン分野への協力
- ・静岡県産業振興財団産学マッチング事業への協力

3-2 医工連携推進、産学官金連携推進、事業化のためのコーディネート活動

○提案7機関（特に浜松商工会議所、浜松工業技術支援センター）との連携強化

浜松商工会議所医工連携研究会とは相互に連絡を取り合い、「はままつメディカル塾」や「医療現場との情報交換会」をはじめとしたイベントを共催し、地域企業を共に訪問するなどして連携を強化した。また浜松医工連携研究会主催の全体会・幹事会にも出席し、協力関係をもって実施した。

○地域医療関連機関（聖隷福祉事業団、浜松医療センター等）との連携

令和4年10月に開催した「医療現場との情報交換会」において聖隷浜松病院臨床工学室に講師をお願いし、地域企業への現場の課題を報告いただいた。その後、参加企業と意見交換会を催し、連携の橋渡しを果たし、企業との共同開発につなげた。

○地域金融機関（浜松いわた信用金庫、静岡銀行等）との連携

- ・浜松いわた信用金庫が運営する「FUSE（浜松市中区）」をはままつメディカル塾の会場として使用し、ハイブリッドセミナーを実施した。また「第15回はままつビジネスマッチングフェア」に出展し、拠点の広報活動を行った。
- ・静岡銀行が企画・運営している「TECH BEAT Shizuoka」への参加希望企業の呼びかけを行い、TECH BEAT 参画企業とのマッチング、情報交換を行った。
- ・両金融機関のコーディネータには地域企業への情報発信・橋渡しをしていただいた。

○地域大学・支援機関のコーディネータとの連携

- ・静岡大学イノベーション社会連携推進機構や光産業創成大学院大学と相互訪問して交流を図り、連携の強化を図った。
- ・光産業創成大学院大学のバイオフィotonicsデザイン分野への協力は、医療現場との情報交換会や現場との情報交換会において積極的に参加いただき、現場ニーズの共有を図るとともに、光産業創成大学院大学主催の「バイオフィotonicsデザイン公開講座」に参加するなどして連携を強化した。

3-3 企業訪問によるニーズ・シーズ発掘

- 県西部を中心に「スタートアップ支援事業」のフォローアップとして令和3年度採択企業4社（1社は解散）を訪問し、現状把握を行うとともに助言を行い、今後の開発の方向性を議論した。

3-4 医工連携を支援するコーディネータ人材の養成

- ・地域企業を対象とした「はままつメディカル塾（医療機器・薬機法関連セミナー）全5回」を開催し、のべ84社136名の出席があった。
- ・「共同研究・研究倫理セミナー」を開催し、浜医大からも含めて56名の出席があった。

3-5 MEDIC 医療機器開発支援ネットワーク事業への参画

- ・10月に福島県郡山市で開催された「メディカルクリエーションふくしま2022」に出展するとともにその会場で開催された「医療機器開発連携推進ネットワーク合同シンポジウム」他の国内拠点13機関とともにパネラーとして出席し、他の支援機関と交流を図るとともに、当拠点のPRを行った。

4. 事業化支援活動

4-1 医工連携スタートアップ支援事業

○医工連携スタートアップ支援事業

本拠点が公益財団法人静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業を受託し、医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、「アイデアの実現性の検証」を行う支援事業を平成24年度から毎年行っている。令和4年度は、5課題を採

択した。2月に実施した「成果報告会」において成果の報告をいただくとともに、審査委員・アドバイザーとの質疑応答を経て、今後へのアドバイスをを行った。

○令和4年度採択課題

- ① M社：菌種と抗菌薬感受性を簡便かつ迅速に同定するための、蛍光指紋を用いた新規微生物学的検査機器の開発
- ② G社：人肌の分光光散乱分布測定器の試作
- ③ F社：救急現場で便利な網まぐらの開発
- ④ Y社：頸部ダイナミックサポータの開発
- ⑤ S社：転んだ時だけ柔らかくなる床「ころやわ」の薄型試作

この事業では、これまで今年度も含め、62件の開発案件を支援し、その後のフォローアップ（企業訪問等）を行うことにより、開発が継続され、約33%が他の公的資金を獲得している。また、製品化についても、12件を達成している。この事業は、企業の持つシーズ発掘にもつながっている。令和4年度の採択課題も、今後より大きな公的資金獲得・製品化に向けて、更に支援を継続する予定である。

また、令和3年度採択企業4社（1社解散）を訪問し、現状把握を行うとともに助言を行い、今後の開発の方向性を議論した。

4-2 主催・共催イベント等の開催

○メディカルイノベーションフォーラム

拠点の成果報告、情報発信のための中心的なイベントである「メディカルイノベーションフォーラム2022」を、令和5年2月10日に、メディカル・ウェルネス関連機器開発の着眼点をメインテーマとし、えんてつホールにて開催した。基調講演は池野文昭様（米国スタンフォード大学循環器科 主任研究員）に「医療現場のニーズの探索とバイオデザイン」としてご登壇いただいた。公益財団法人静岡県産業振興財団 副理事兼専務理事 三須敏郎様より挨拶をいただいた。また「スタートアップ支援事業」が11年経過したこともあり、スタートアップ支援事業の制度概要と今までの実績を報告するとともに、この制度を発端にして製品化を行った採択企業4社による成果展示と報告を行った。

○企業と医療・介護現場との情報交換会 （詳細はP11～12 記載）

現場医師・医療従事者による医療ニーズ・シーズの情報発信のための企業向け講演会であり、今年度はコロナ渦の厳しい情勢であったが、以下の2回開催した。終了後に行う予定であった「現場見学会」は実施が難しく意見交換会を行った。

・第1回情報交換会 9月27日開催 （現地とオンライン形式のハイブリッド形式）

講演テーマ

「臨床工学室からの現場及び業務の紹介について」

「次世代創造医工情報教育センターの紹介と救急科からの現場及び業務の紹介について」

「整形外科からの現場及び業務の紹介について」

※終了後の交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、名刺交換のみ実施

・ **現場見学会/意見交換会** (10月17日、25日)

医療現場のニーズ・課題の発掘のため病院等の各診療科・部署見学についてはコロナ対策のため院内での見学会は中止し、浜松医科大学内会議室で意見交換会が行われた。

・ **第2回情報交換会2月3日** (現地とオンライン形式のハイブリッド形式)

講演テーマ

「脳神経内科からの現場及び業務の紹介について」

「耳鼻咽喉科・頭頸部外科からの現場及び業務の紹介について」

「リハビリテーション科からの現場及び業務の紹介について」

※終了後の交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、名刺交換のみ実施。

・ **現場見学会/意見交換会**

2月3日に実施した情報交換会についての現場見学会・意見交換会は、令和5年度4月に実施予定。

○ **学術研究会・勉強会・セミナー** (詳細はP11～13記載)

・ 医療機器・薬機法関連セミナー「はままつメディカル塾(全5回)」

・ 共同研究・倫理セミナー

9月2日開催 (完全オンライン形式)

・ 浜松医科大学で共同できるMRI/CTのご紹介」セミナー

10月4日開催 (完全オンライン形式)

○ **医工連携出合いのサロン**

本拠点が静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業で受託し、平成25年から毎年実施している事業である。非医療機器メーカーが、医学系学会に展示することは困難であるため、展示ブースをはままつ医工連携拠点が買い取ることで、取りまとめて企業展示を行ってきた。また、医療機器関連の展示イベントを開催しても、実際に利用する臨床医・医療従事者は多忙であり、展示会場を訪れることはほとんどない。そこで、全国の臨床医・医療従事者が集まる医学系学会に附設する形で、静岡県内で開発された商品や技術を紹介する展示をし、PRを行ってきた。さらに臨床医・医療従事者から商品や技術に対する評価や意見などを直接聴取する機会を企業へ提供する。拠点主催のブースツアー (他の医療機器メーカーの展示ブースを訪問し、企業を紹介するツアー) で橋渡し (面談) の場として提供を行った。

令和4年度はリハビリ関係の学会への出展要望が多かったため「第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会」(令和4年11月4日～6日)岡山コンベンションセンターに出展し、5社の支援を行った。医工連携企画「医工連携ブースツアー」には、出展5社に山本研究統括が同行し、他の医療機器メーカーの出展企業ブースを見学し出展企業にとって満足が得られた。本拠点の周知活動を推進するために、本拠点の活動展示も行った。ブースには多くの訪問者があり静岡県内で開発された試作品や技術を紹介するとともに、医療従事者や医療機器メーカーから開発品に対する評価や意見などを直接聴取する機会となった。いくつか商談案件もあり有意義な学会だった。

◆令和4年度出展企業

- ・橋本螺子株式会社
- ・ソフトプレシ工業株式会社
- ・株式会社モアソングジャパン
- ・株式会社ヤマト製作所
- ・株式会社美浜工業

4-3 大型装置共用促進事業

大型装置による撮影（使用）トライアルユース・デモ

浜松医大に設置してある臨床機器と同様の性能を持つ大型装置（X線CT、MRI）を用いて将来の活用の可能性を見据えて他機関からの要望により、トライアルユースを行っているが、今年度は要望がなく未実施。

4-4 事業化検討会議

事業化を検討する案件が出た場合、希望により医療機器製造販売の有識者を交えた検討会議を開催することになっているが、今年度は未開催。

4-5 健康医療関連団体との連携

一般社団法人日本医療機器工業会、静岡県製薬協会、中部医療機器工業協会等からのダイレクトメール、印刷物で情報収集し、必要に応じて関係者への周知を行った。

特に、（社団）日本医工ものづくりコモンズ（東京都医工連携HUB機構）柏野 聡彦様とはWEB会議及び浜松医工連携研究会全体会の際に情報交換を行った。

5. 広報活動

5-1 ホームページのリニューアル・管理・維持

大幅にリニューアルした拠点のホームページをより利用してもらいやすくするとともに、事務局の効率も考慮して更なるリニューアルを行った。また、情報発信を随時行った。

5-2 パンフレット・編集・増刷、配布

今年度はパンフレットの微修正を行い、印刷配布した。

5-3 展示会への出展等

【地域外】

- ・「Medtec Japan」に出展 4月20日～22日 東京ビッグサイト展示場
医療機器の設計・製造に関するアジア最大級の展示会であるMedtec Japan 2022（東京ビッグサイト）において、（公財）静岡県産業振興財団が取りまとめた静岡県ブースに、本拠点をはじめ静岡県内企業10社が出展。他の地域の産学連携との情報交流を行った。

- ・「メディカルクリエーションふくしま」に出展 ビッグパレットふくしま
令和4年10月27日～28日に開催された、国内外から200以上の企業・大学・医療機器メーカーが参加する展示会において展示周知活動を行った。「医療機器開発連携推進ネットワーク合同シンポジウム」では支援拠点として牧野事業総括が登壇した。

【地域内】

- ・「ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu」7月27～28日
アクトシティ浜松 展示イベントホール
- ・「産業振興フェア in いわた」に出展 11月11日～12日 磐田市アミューズ豊田

5-4 企業、大学、産業支援機関等の訪問（拠点事業の紹介・PR）

- ・ふくろい産業イノベーションセンター（静岡理科大学内）主催の「第2回医療・介護・福祉業界交流会」が9月15日に袋井駅前の「袋井新産業会館キラット」で開催され、先方からの依頼で当拠点の概要・活動紹介をさせていただいた。
30数名の参加者（企業・行政・支援機関・医療福祉団体等）があった。
- ・「大学等の研究シーズと企業のマッチング促進事業」（静岡県産業振興財団）
財団コーディネータと交流を図ったが、進展はなかった。

5-5 事業活動報告書の編集・発行

令和3年度分の事業活動報告書を作成した。

5-6 スタートアップ支援事業の過去採択テーマからの製品化展示会・報告会の開催

4-2で既報のとおり、2月に開催したメディカルイノベーションフォーラムにおいて、山本研究統括からスタートアップ支援事業の制度概要と今までの実績を報告するとともに、製品化を行った採択企業4社による成果展示と報告を行った。

5-7 浜医大設置大型装置（CT, MRI）による撮影トライアルユース・デモによるPR

6. 他地域・海外との連携

6-1 他拠点との情報交換と連携事業の検討・実施

○信州・浜松拠点間交流会議 2022

毎年交互に訪問しあって開催している拠点間交流会議は、令和4年6月13日～14日、ホテルブエナビスタ（松本市）でオンライン併用のハイブリッド形式で開催した。第一部情報交換&活動報告が行われた。第二部医工連携拠点間の連携を考えるでは2機関の講演が行われた。翌日は大型滅菌装置国内トップシェアのサクラ精機株式会社を訪問し、ものづくりへのこだわりの現場を見学した。2023年は浜松で開催予定である。

○静岡県東部(ファルマバレー)との連携事業の推進

コロナ渦の影響もあり、訪問はできなかったが、4月に開催された Medtec Japan とメディカルクリエーションふくしまの会場で意見交換を行った。

○「メディカルクリエーションふくしま」での交流

ビックパレットふくしまで令和4年10月27日～28日に開催された「メディカルクリエーションふくしま」において「医療機器開発連携推進ネットワーク合同シンポジウム」に依頼を受けて登壇し、AMED次世代医療機器連携拠点整備等事業採択拠点である「医療機器開発連携推進ネットワーク 和（やわらぎ）」参画8機関及び他の支援機関4機関と交流を図り、情報交換を行った。

○東九州メディカルバレー(大分県)来訪

令和5年3月22日に「大分県医療ロボット・機器産業協議会」会長及び大分県担当職員が静岡県を訪問され、静岡県庁職員とともにHAMINGを訪問された。その場で当拠点のPRも行った。

○関東経済産業局主催「長野県・山梨県・静岡県合同意見交換会」への参加

- ・3月17日にWEBで開催され、県庁経済産業部新産業集積課からの依頼により、参加した。関東経済産業局次世代産業課石原課長の挨拶の後、各県の担当者から状況の報告があり質疑応答の後、今後の連携に向けて期待が示された。

6-2 産学官連携ネットワークとの連携

医工連携ものづくりコモンズ（日本医工研究所）とWEB面談で情報収集を行った。

6-3 国際的な医療クラスターの情報収集

未実施。

7. 事務局活動

7-1 事業運営委員会開催

9ページに記載の通り実施した。

7-2 事業運営委員会ワーキング会議（実務者会議）

9～10ページに記載の通り実施した。

7-3 事務局ミーティング・拠点企画会議

各々10回/年程度実施し、拠点内の情報共有・状況把握を行った。

7-4 事業活動報告書の作成

令和3年度事業活動報告書を拠点内及び関係機関の協力で作成した。

8. 活動実績のまとめ

8-1 大型機器他を活用した医工連携研究推進

令和4年度 研究機器使用実績					
	本拠点に設置された 機器の名称	回数(回)			設置場所
		累計	(有料)	(無料)	
1	PET/CT 装置	1419	1419	0	浜松医科大学
2	ピコ秒レーザー加工システム	17	4	13	浜松工業技術支援センター
3	ファイバーレーザー加工システム	22	1	21	浜松工業技術支援センター
4	半導体レーザーシステム	5	5	0	浜松工業技術支援センター
5	試料観察顕微鏡システム	85	32	53	浜松工業技術支援センター

	技術相談申込件数	その他相談件数
医療機器に関する相談数	5	9

8-2 運営委員会等 会議開催状況

会議名称	開催日時	参加者	概要
事業運営委員会 2回			
第1回事業運営委員会	令和4年5月27日 13時30分～15時30分	委員9名 (代理2名) 計25名	・令和3年度事業報告、収支決算報告 ・令和3年度会計監査報告 ・令和4年度修正予算(案) ・新成長産業戦略育成事業 他
第2回事業運営委員会	令和5年3月23日 13時30分～15時00分	委員:9名 (代理1名) 計28名	・令和5年度事業計画案について ・令和5年度予算案について ・浜松医科大学産学官連携実施法人化について
ワーキング会議 6回			
第84回ワーキング会議	令和4年5月17日 10時～11時30分	25名	・令和3年度第2回事業運営委員会について ・運営委員会の資料確認、Medtec Japan 報告、 スタートアップ支援事業募集開始 他
第85回ワーキング会議	令和4年7月19日 13時30分～14時30分	23名	・令和4年度第1回事業運営委員会について ・浜松・信州拠点間交流会議について ・令和4年度スタートアップ支援事業審査会 ・令和4年度出会のサロン募集 ・令和4年度医療機器・薬事法関連セミナーにつ いて他
第86回ワーキング会議	令和4年9月20日 13時30分～14時30分	23名	・ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu・共同研 究・研究倫理セミナー ・令和3年度医工連携出会のサロン出展企業 他

第 87 回ワーキング会議	令和 4 年 11 月 29 日 10 時～11 時 30 分	23 名	・MRI/CT セミナー、はままつメディカル塾、医療・介護現場との情報交換会についての報告 産業振興フェア in いわた報告 ・令和 3 年度医工連携出合いのサロンについて 他
第 88 回ワーキング会議	令和 5 年 1 月 18 日 13 時 30 分～14 時 30 分	19 名	・メディカルイノベーションフォーラム ・スタートアップ支援事業進捗状況ヒアリング、はままつメディカル塾、医療・介護現場との情報交換会他
第 89 回ワーキング会議	令和 5 年 3 月 14 日 13 時 30 分～14 時 45 分	25 名	・メディカルイノベーションフォーラム/はままつメディカル塾、スタートアップ支援事業成果報告会について他 ・令和 5 年度事業計画/予算(案)について ・浜松医科大学産学連携外部法人化について

* 拠点内事務局ミーティング・拠点ミーティング会議は 1～2 回/月にて随時開催した。

8-3 外部資金獲得状況

受託研究 2 件

事業名 (委託機関等)	課題名・ プロジェクト名	受託機関	役職	研究者名	研究期間
医療分野研究成果展開事業先端計測分析技術・機器開発プログラム	Collagen 嵌合現象を応用した Laser 組織接合システムの開発研究	光産業創成大学院大学	准教授	沖原伸一郎	2020 年度 ～2022 年度
令和3年度中小企業経営支援対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)	極小径金属ステントおよび新規生体適合性ゲルを用いた重症リンパ浮腫に対する革新的治療機器開発	光産業創成大学院大学	准教授	沖原伸一郎	2021 年度 ～2023 年度

8-4 実用化実績

製品化実績 2 件

研究者名	商品名	販売開始年月日	販売元企業名	商品情報 (URL 等)
山本 清二	手術用顕微鏡 HM-1000MS	2022 年 10 月	(株)はままつメディカルソリューションズ(HaMS)	
藤島 一郎 (浜松市リハビリテーション病院) 前嶋 文明(ソフトプレシ工業(株))	嚙下チェア FISLAND FJ-1	2022 年 11 月	ソフトプレシ工業(株)	

8-5 普及活動

成果発表会・講演会・セミナー等イベント(人材育成関連は除く) 7回(企業数 153社、参加者数 337名)			
セミナー「共同研究・研究倫理セミナー」 形式:オンライン(Zoom) テーマと講師: 『共同研究について』 浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)副学長 山本 清二 氏 『研究倫理について』 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 特任教授 光産業創成大学院大学 バイオフィotonicsデザイン分野 特任教授 葦島 伸生 氏	令和4年 9月2日	10社 5機関 WEB: 計56名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
医療現場との情報交換会 場所:ホテルクラウンパレス浜松 松の間 及びオンライン(Zoom) テーマと講師: 1. 臨床工学室からの現場及び業務の紹介について 聖隷浜松病院 臨床工学室 係長 鈴木 克尚氏 2. 次世代創造医工情報教育センターの紹介と救急科からの現場及び業務の紹介について 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 副センター長 准教授 齊藤 岳児氏 3. 整形外科からの現場及び業務の紹介について 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 講師 有馬 秀幸氏	9月27日	会場:34名 WEB:27名 35社 計61名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
セミナー「浜松医科大学で共同利用できるMRI/CTのご紹介」 形式:オンライン(Zoom) 講師:浜松医科大学 産学連携・知財活用推進センター 特任研究員 静岡医療科学専門学校 医学放射線学科 夏目 貴弘 氏	10月4日	5社 7機関 計28名 (WEB)	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
医療・介護現場意見交換会① 浜松医科大学 中会議室 聖隷浜松病院 臨床工学室 係長 鈴木 克尚氏	10月17日	8社 計9名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
医療・介護現場意見交換会② 浜松医科大学 中会議室 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 副センター長 准教授 齊藤 岳児氏	10月25日	11社 計20名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ

医療・介護現場意見交換会③ 浜松医科大学 中会議室 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター 講師 有馬 秀幸氏	10月25日	12社 計21名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
医療現場との情報交換会 (浜松医科大学の医師から製品開発のヒントを得る) 場所:クラウンパレスホテル浜松 松の間 及びオンライン(Zoom) テーマと講師: 1.『脳神経内科からの現場及び業務の紹介について』 浜松医科大学付属病院 脳神経内科診療科長 教授 中村 友彦氏 2.『耳鼻咽喉科・頭頸部外科からの現場及び業務の紹介について』 浜松医科大学付属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療責任者 教授 三澤 清氏 3.『リハビリテーション科からの現場及び業務の紹介について』 浜松医科大学付属病院 リハビリテーション科 科長 病院教授 山内 克哉氏	2月3日	会場:22名 WEB:35名 33社 計57名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
メディカルイノベーションフォーラム2022 場所:えんてつホール 【メディカル・ウェルネス関連機器開発の着眼点】 基調講演「医療現場のニーズの探索とバイオデザイン」 講演者:スタンフォード大学 循環器科 主任研究員 MedVenture Partners 株式会社 取締役・チーフメディカルオフィサー 池野 文昭 氏	令和5年 2月10日	会場:85名 39社 12機関	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ

8-6 人材育成

人材育成関連(講習会・研修会等) 5回(企業数 84社、参加者数 136名)			
会議名称	開催日時	参加者	概要
はままつメディカル塾 第1回 わかりやすい医療機器と薬機法(入門編) 場所:アクティ浜松コンgresセンター 21 会議室/オンライン(Zoom)併用 講師:浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 氏	令和4年 9月22日	会場:10名 WEB:33名 22社 計43名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
はままつメディカル塾 第2回 医療・ヘルスケア関連ソフトウェアと「プログラム医療機器」 場所:アクティ浜松コンgresセンター 21 会議室/オンライン(Zoom)併用 講師:浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 氏	10月20日	会場:6名 WEB:21名 19社 計27名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ

はままつメディカル塾 第3回 医療機器産業への参入の実際と課題及び業許可等 形式:オンライン(Zoom)のみ 講師:浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 氏	11月24日	WEB:27名 20社	対象者:企業 関係者、研究者、コーディネータ
はままつメディカル塾 第4回 医療機器の品質マネジメントシステムとQMS省令の構築 場所:Co-startup Space&Community FUSE/オンライン(Zoom)併用 講師:浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 氏	12月15日	会場:11名 WEB:8名 9社 計19名	対象者:企業 関係者、研究者、コーディネータ
はままつメディカル塾 第5回 医療機器の開発におけるリスクマネジメントと医療機器の許可等の申請 場所:Co-startup Space&Community FUSE/オンライン(Zoom)併用 講師:浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 氏	令和5年 1月25日	会場:11名 WEB:9名 14社 計20名	対象者:企業 関係者、研究者、コーディネータ

8-7 取材・報道状況

新聞・雑誌新聞 11件		
医工連携アイデア実証性検証を支援	令和4年5月31日	静岡新聞
ミドリムシ培養 静大・浜医・浜松の企業がベンチャー	令和4年7月29日	静岡新聞
静岡大浜松キャンパス100周年 2大学制 早期実現を	令和4年9月6日	静岡新聞
静岡大浜松キャンパス100年 ものづくり先頭走り続け	令和4年9月19日	中日新聞
台湾訪日団 浜松市長と意見交換 (浜松医科大、ウエルネスワーケーション施設訪問)	令和4年10月14日	静岡新聞
浜ホト 固定具不要の頭部用PET	令和4年11月23日	中日新聞
医工連携 嚔下チェア開発	令和4年12月6日	静岡新聞
社説 浜松「医工連携」大 足踏み状態でいいのか	令和4年12月18日	静岡新聞
光医学研究所開設(浜松医大が検討)「脳や心の病 診断、治療法創造へ」	令和4年12月30日	静岡新聞
浜松医大が事業化へ「立体視しやすい顕微鏡」	令和5年1月18日	日経新聞
医療俯瞰する人材育成「静大・浜医大再編」	令和5年3月22日	静岡新聞

8-8 視察受入・面談

27件		
面談	令和4年4月19日	静岡県庁 S氏、O氏、T氏
面談	令和4年4月28日	浜松市役所 I氏、Y氏
面談	令和4年5月18日	静岡県産業振興財団 Y氏
面談	令和4年5月19日	浜松市役所産業振興課 U氏、S氏
面談	令和4年5月30日	静岡新聞 K氏
面談	令和4年6月16日	静岡理工科大学 I氏、I氏
面談	令和4年6月20日	聖隷浜松病院 S氏

技術相談	令和4年7月12日	浜松医科大学 M氏 企業 N社
面談	令和4年8月30日	P社 コーディネーター2名
面談	令和4年8月30日	S社 コーディネーター1名
面談	令和4年9月6日	静岡県産業振興財団
面談	令和4年9月13日	S社 T氏
WEB面談	令和4年11月14日	吉備リハビリテーションセンター 医大Y氏、Iコーディネーター
面談	令和4年12月13日	Y社
WEB面談	令和4年12月14日	M社 M氏
WEB面談	令和4年12月14日	G社 K社長
WEB面談	令和4年12月14日	F社 K社長
WEB面談	令和4年12月16日	M社 M氏、S氏
面談	令和4年12月20日	Y社 Y社長
面談	令和4年12月20日	H社
面談	令和5年1月19日	相模原市役所
面談	令和5年1月19日	静岡県産業振興財団:Kコーディネータ
面談	令和5年2月7日	Y社 Y社長
面談	令和5年2月16日	M社 T氏
面談	令和5年2月24日	T社 S氏、医大A氏
面談	令和5年3月2日	A社 I氏、N氏
面談	令和5年3月3日	H社:T氏

8-9 他拠点との連携等

内容	日付	場所
信州・浜松拠点間交流会議 2022	令和4年6月13日～14日	ホテルブエナビスタ
東九州メディカルバレー(大分県)来訪	令和5年3月22日	協同組合 HAMING

8-10 その他(拠点運営費による出張業務)

○木村拠点長出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和4年4月20日 ～22日	Medtec Japan2022 において出展支援及び視察	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動
2	令和4年6月13日 ～14日	信州・浜松拠点間交流会議 2022 出席	ホテルブエナビスタ 長野県松本市	連携活動
3	令和4年9月13日 29日	令和3年度スタートアップ支援事業フォローアップ 対象企業を訪問	(株)美浜工業、仲山貴金 属鍍金(株)、(株)Stella、(株) 平垣製作所	事業化活動
4	令和4年10月27日 ～28日	メディカルクリエイションふくしま 出展支援	ビックパレットふくしま 福島県郡山市	広報活動

5	令和4年11月4日 ～6日	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (医工連携出会いのサロン)出展支援およびブースツアー	岡山ロンベンションセンター 岡山県岡山市	広報活動
---	------------------	---	-------------------------	------

○牧野事業総括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和4年4月20日 ～22日	Medtec Japan2022 において出展支援及び視察	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動
2	令和4年6月13日 ～14日	信州・浜松拠点間交流会議 2022 出席	ホテルブエナビスタ 長野県松本市	連携活動
3	令和4年9月13日	令和3年度スタートアップ支援事業フォローアップ 対象企業を訪問	(株)美浜工業	事業化活動
4	令和4年9月29日	東京商工会議所 文京支部 医療産業分科会(東京 都文京区 医工連携)との交流事業	順天堂大学、東京医 科歯科大学	視察活動
5	令和4年10月27日 ～28日	メディカルクリエーションふくしま 出展支援	ビックパレットふくしま 福島県郡山市	広報活動
6	令和4年11月4日 ～6日	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (医工連携出会いのサロン)出展支援およびブースツアー	岡山ロンベンションセンター 岡山県岡山市	広報活動
7	令和4年12月6日 ～7日	吉備高原医療リハビリセンターとの面談・現場見学	吉備高原医療リハビ リセンター 岡山県吉備市	支援活動

○山本研究統括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和4年4月20日 ～22日	Medtec Japan2022 において出展支援及び視察	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動
2	令和4年6月13日 ～14日	信州・浜松拠点間交流会議 2022 出席	ホテルブエナビスタ 長野県松本市	連携活動
3	令和4年9月13日 29日	令和3年度スタートアップ支援事業フォローアップ 対象企業を訪問	(株)美浜工業、仲山貴 金属鍍金(株)、(株) Stella、(株)平垣製作所	事業化活動
4	令和4年10月27日 ～28日	メディカルクリエーションふくしま 出展支援	ビックパレットふくしま 福島県郡山市	広報活動
5	令和4年11月4日 ～6日	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (医工連携出会いのサロン)出展支援およびブースツアー	岡山ロンベンションセンター 岡山県岡山市	広報活動